

日本の進む道研究所会報 第二号

平成三十年（二〇一八年）四月一日 発行 日本が進む道研究所

代表 安東 幹 連絡先などは会報の最終面に

研究所代表あいさつ

日本をめぐる情勢は厳しいです。日本が繁栄するためには、努力が必要とされています。安全保障、日本の主張の発信、積極外交、技術革新、語学推進、少子高齢化克服・・・。安倍政権は日本の危機を克服できる政権です。当研究所としては、安倍首相を評価し、今、日本政治が直面する課題は何なのかを正しく国民が認識することを訴えるものであります。

研究所が、現在、取り組んでいるプロジェクトは以下です。ウェブサイトの大幅なリニューアル。日本共産党と関係が深いメディアに登場した文化人、

日本共産党と関係が深い労働組合、労働争議団を批判する電子書籍の出版です。

現在、会報の発行は、寄贈を含めて百部です。

一生懸命、がんばっております。どうか、よろしくお願います。

安東 幹

建て直そう日本・女性塾のイベントはすばらしい！

「宝塚100年の歴史から学ぶ・心と身体の磨き方」講師：元タカラジェンヌ 堀内明日香氏 三月二十八日（水）午後 参議院議員会館会議室にて。今回は五月、参加が楽しみです。

塾長 上野通子 参議院議員 相談役 伊藤玲子 元鎌倉市議 幹事長松浦芳子 杉並区議

領土・主権展示館に行こう

「領土・主権展示館」は、竹島及び尖閣諸島が我が国固有の領土であることを示す歴史的資料や人々の営みを示す資料をまとめて紹介する初めての国の施設です。領土情勢が厳しさを増す中、日本の立場についての正確な理解が浸透していくよう、竹島及び尖閣諸島に関する内外発信の拠点として発展させていきます。（リーフレットより）

日比谷公会堂地下一階
入館料 無料
開館時間 十時から十八時
休館日 土日祝 年末年始

無料でいただけるたくさん資料、パンフレット、英文・韓国語のものもあります。外国人を連れてきてもいいねいなによる英中韓ガイドダンスがあるので大丈夫です。塗り絵もでき、絵本もあるキッズコーナーもあります。日比谷公園内、数十分ですべての展示を見学することも可能です。お土産もあります。

参議院議員 佐藤正久先生

「昼食懇談（報告）会」
参加して良かったです。

四月五日（木）ホテルグランドヒル市ヶ谷で十二時から十三時まで開催された佐藤正久先生の会に参加しました。最新情勢、特に国際分析の勉強になりました。今後も、参加したいです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

目次

- 一 過去の朝日新聞の本社ビル土地の疑惑取得（二ページ）
- 一 菅・枝野・海江田国会議員が政府幹部だったところ福島原発事故の一部の記録が残っていない（四ページ）
- 一 当時枝野官房長官が警察の「総連」など調査に厳しすぎると圧力（五ページ）
- 一 日本共産党と関係が深い女性の最大団体新婦人の会で配達集金が乱れピンチ（六ページ）
- 一 マルクスの酒乱・不倫・民族差別などの真実（八ページ）

●《海軍経理学校跡地を「疑惑取得」して本社を建てた朝日新聞は森友問題を報道する資格はない》

■朝日新聞社が国有地を取得した当時のOBが、1973年の新年会で朝日新聞が海軍経理学校跡地の払い下げを受けたことに關して「国会の野郎どもも、朝日がこわいから何もいわんし、委員会でも問題にならん…」と、吠えていました。

この妄言が、朝日新聞の国有地取得に關する闇をさらけ出していたのです。

朝日新聞は、1973年1月23日、経済的市場価値のない土地と交換（一部売買）する形で、都心有数の一等地（中央区築地：海軍経理学校跡地約400坪）を入手し現本社を建てていました。

この国有地を入手した広岡知男朝日新聞社長は、1973年1月9日、朝日新聞出身の集まりの旧友会で「：毎日、読売も発送、トラックの関係で有楽町を逃げ出した。わが社でも、どこかいいたころはないか、便利で広い土地はないか、と探していたら、国立がんセンターの近くで海上保安庁（水路部）跡の四千四百坪という、ちょうどい

い土地が見つかりましたので、譲り受けました……」（『週刊新潮』【朝日新聞東京本社移転に国有地の「手に入れ方」】1973年1月25日号）と、挨拶していました。

そして出席していた旧友が「今の古い建物は、…修繕の見積りをさせたところが、五、六十億かかるといって、とんでもない話になった。五、六十億かけるんなら、それだけの金で土地を探したほうがいいというんで、担当委員が作られた。…街の不動産ブローカーから買うと高いので、大蔵省担当が国有財産課長にまともにもぶつかり、脈

がありそうだというんで、専務が大蔵大臣に直接当たってウンといわせ、（広岡）社長がアイサツに行った。国有地はたくさんあるが、いちばん条件のいいところが例の海軍経理学校跡、…いまの本社は、…

のように身売りはしない。…身売りする必要なんか無い。…広岡社長は、貸ビルにするなんてケチなことはいわんが、オレのカンでいえばそうゆうことだな…」（『週刊新潮』）と、内情を明らかにして「国有地の払い下げは、よく国会でも問題になるが、…国会の野郎どもも、朝日がこわいから何もいわんし、委員会でも問題にならん。…公共的機関である朝日新聞が大手を

振って正面からいったんだ。発行部数が六百六十七万部。読売、毎日をはるかに抜いている。その天下の大朝日が国有地の払下げを受けても文句はないだろう。朝日の信用だよ。国会議員だって、衆参合わせりゃ、朝日新聞出身が二十数名いて、朝日新聞出身議員団として親睦会をやっとるくらいでね。そういう力も少なくなかったらうね…」（『週刊新潮』）と、いま国会で問題になっている森友問題など吹っ飛ぶくらいの大疑惑です。

朝日新聞の専務が、大蔵大臣に直談判して、都心（築地）の一等地約400坪を強奪したようなものだったので。その実態を、朝日新聞が大蔵省に交換を認めさせた東京都杉並区下高井五丁目のコンピュータ閉鎖記録「土地台帳」と「登記簿」及び、戦前からの当該土地調査の実態を精査して、朝日新聞の犯罪性を明らかにします。

朝日新聞が杉並区に所有していた土地（約九千坪）は、最寄り駅の井の頭線「浜田山駅」から約「三」徒歩「五」分くらいかかり、現在、「杉並区立塚山公園」になっていました。現地に着くまでタクシーをつかま

ようにもまったく見ることもなく、公共交通はコミュニティバスだけの不便なところでした。

そもそも、朝日新聞が当該土地を入手したのは、法務局の土地台帳によると昭和18（1943）年1月25日に売買によって所有権移転が行われていました。その地目は「山林」で戦後ずっとそのまま経過し、1988（昭和63）年5月13日に「雑種地」に変更されていますが「原因」は記されていません。そして不可解なことは、唐突に翌1992（昭和67）年3月29日に地目が「宅地」に変更されていたのです。

なぜ不可解かと申しますと、その土地は戦前から文化財保護の観点上「宅地開発」が難しい場所だったからです。

それは、朝日新聞が当該土地を取得する前に、その土地から東京市初の「縄文遺跡群」が発見されていたからなのです。

杉並区立郷土博物館【復原住居と竪穴住居址見学のしおり】の「下高井戸塚山遺跡」によると《神田川流域の台地上に位置しています。1932（昭和7）年頃から調査がさ

れていましたが、江坂輝彌氏によってはじめて紹介されました。その後、1937（昭和12）年、後藤守一氏（筆者注：明治大学名誉教授・考古学）により、東京市（当時）内において初めて縄文時代の竪穴住居址群が発見されました。……と、記載されています。

また杉並区教育委員会掲示によると、塚山遺跡は「区立塚山公園敷地一帯を中心とした旧石器時代（約三万年前）から縄文時代中期（約三千年前）にかけての集落跡です」となっており、戦時中にも関わらず、朝日新聞が当該土地を取得したのは戦前文化事業に熱心だったことと符合します。

その縄文遺跡群は、文化財保護委員会（現文化庁）が1968（昭和40）年に刊行した『全国遺跡地図』に記載されており、国が埋蔵文化財として保護の対象にしていたのです。

当然、1950（昭和25年）に施行された『文化財保護法』の「第89条土地の所有者又は占有者が出土品の出土等により貝塚、住居跡、古墳その他遺跡と認められるものを発見したときは、第九十二条第一項の規

定による調査に当たって発見した場合を除き、その現状を変更することなく、遅滞なく、文部科学省令の定める事項を記載した書面をもって、その旨を文化庁長官に届け出なければならぬ。」の対象遺跡群だったのです。

実際、現地を視察すると朝日新聞社が北側の斜面を大きく切り開いて造成した野球場がそのまま残っており、東側角の現在「ふれあい広場」になっているところにも野球場が造成されていたとのことです。実際、その野球場は、埋蔵文化財保護対象遺跡群を破壊した「動かぬ証拠」になっています。

杉並法務局に問合せても、文化財保護法の対象になっていた土地が、なぜ地目が「山林」から唐突に「宅地」への変更が許可されたのかは、1967（昭和42）年当時の「申請書」が保存されていないので解らないとのことでした。

それを解く鍵は、前述した『週刊新潮』に記載されている朝日新聞旧友の発言にある修理に「五、六十億かけるんなら、それだけの金で土地を探したほうがいいという

んで、担当委員が作られた」とあり、国有地払い下げ当時の朝日新聞社内体制を精査すると、これまでの疑問を払拭できる実態が明らかになりました。

それは、1967（昭和42）年当時、朝日新聞社内では社会主義者（組合員）たちによる社内革命の真っ只中の時期だったのです。

1968（昭和43）年一月、朝日新聞の内紛で村山長孝社長が辞任すると、広岡知男は同月に東京本社編集局長に復帰し、元朝日新聞常務取締役で全日空相談役となっていた朝日新聞社顧問の美土路昌一が同年二月に社長になると広岡が専務取締役

となつて、労組幹部時代の仲間の森恭三論説主幹らと組んで実権を握り、朝日新聞の経営から大株主の村山家を排除したのです。広岡は1967（昭和42）年1月、社長に就任。そして、緒方竹虎の主筆解任以来28年間空席となっていた主筆職を1971年5月から兼務し、朝日新聞社史上初の社長兼主筆となつていたのです。これらの事実から、地目を「宅地」に変更したのは広岡知男が実権を握っていた時期だったことが解ります。

その時期の政界は、歴史に名を刻むことに前のめりになり、日中国交正常化を推進しようとしていた田中角栄が、1972年1月1日に総理大臣に就任していました。その田中政権を大番頭として支えたのは、朝日新聞出身国会議員団親睦会々長だった橋本登美三郎自民党幹事長だったのです。ところが朝日新聞は、大恩があった橋本が、1969年の月、ロッキード事件地裁判決で有罪が確定したら、南京攻略戦に朝日新聞キャップとして従軍していた橋本を貶める「南京大虐殺キャンペーン」を、1965年11月から開始していたのです。

前述した「国会議員だって、衆参合わせりや、朝日新聞出身が二十数名いて、朝日新聞出身議員団として親睦会をやつとるくらいでね。そういう力も少なくなかっただろうね」の親睦会々長が、橋本登美三郎自民党幹事長であれば怖いも無しだったのです。まして日中国交正常化に前のめりになっていたのは、田中角栄以前に朝日新聞の独裁者広岡知男その人だったのであり、田中角栄と広岡知男が連携したことが、「歴史認識」に象徴される戦後我が国の不幸の始まりなのです。

国有地払い下げを「専務が大蔵大臣に直接当たってウンといわせ」と旧友が発言していました。そのときの大蔵大臣も田中派の植木庚子郎だったのであり、当時の大蔵大臣の立場では「ウン」以外の選択肢などなかったことは明らかでしょう。

しかし、法治国家の体裁上、様々なアリバイ工作が行われていたことは、法務局に残されている土地台帳から類推できるので

す。実際、朝日新聞は、都心有数の一等地だった国有財産と交換する土地が、経済市場価値がない山林（埋蔵縄文遺跡群）だともないので、大蔵省が官舎を建てれる土地と交換すると言いつでできるように地目を「宅地」に変更したのであるが無理がありません。

また、大蔵省も少し調べれば、官舎など建てれないことは直ぐ判ったはずですので、ほとぼりが済むまでその土地を塩漬けにし、大蔵省が東京都杉並区に公園用地として所有権移転登記を行ったのは、登記簿によると1985（昭和60）年3月29日だったのです。その原因を「売買」としてますが、実態は「無償譲渡」だったのです。この時

の大蔵大臣は、田中派の竹下登でした。これで朝日新聞の国有地取得疑惑問題が登記簿上終了したかのような体裁になっていきますが、社会の「公器」としての「天下の大新聞社」には道義的・倫理的責任はそのまま残っているのです。

日本国勢調査会の調べによると、朝日と大蔵省の取引は2筆の契約になっています。

実際、海軍経理学校跡地の朝日新聞と大蔵省の取引の一筆は、中央区築地5丁目2番1号、面積304坪（1万35㎡）は、1973年2月2日に「売却」として朝日新聞に所有権が移転されていますが、所有権移転日から10年間「買い戻し特約」が設定登記され、買い戻し権者は大蔵省となっています。売買代金は「億21万円（坪あたり55万円）。当時、築地駅周辺の土地売りがなく「8年前に8坪売ったら千三百万円だった」（同『週刊新潮』）とあり、まとまった土地なら坪200万円は下らない価値の土地が超破格の坪9万円だったのです。また朝日新聞は購入代金を「延納」したため、大蔵省が「29億5839万円」の抵当権を設定していました。もう一筆は昭和48年1月23日（登記受付日昭和48年

6月2日）、築地5丁目2番85号、面積1708坪（645㎡）の土地と交換した朝日新聞所有の通称「朝日浜田山グラウンド」（約9千坪・塚山遺跡群）との交換によって所有権が移転されました。「等価交換」として評価を築地の坪単価55万円とする、評価額は「億800万円ということになります。朝日新聞はこの2筆の取引で合計47494坪（1万4800㎡）の都心一等地を取得したのです。

当時の「朝日新聞浜田山グラウンド」の評価額は「億800万円ということになります。が、事実上杉並区に「無償譲渡」したのであり、国民の財産に対する「瑕疵担保責任」が生じていたことになり、国会で問題にする案件なのです。

2017年3月に発表された築地の当該土地の地価公示価格は、坪当たり61万6000円。また中央区平均坪単価公示価格は297万円で計算すると、海軍経理学校跡地は「977億円」になり、現在、国会で問題になっている森友学園国有地問題の「8億円」など比較にならない大問題なのです。近現代史研究家・ジャーナリスト水間政憲【ニコニコチャンネル 水間条項国益最前線】
http://ch.nicovideo.jp/mizuma_jyoutoku

平成23（2011）年3月11日・東日本大震災で起きた「福島第1原発事故対応の、官邸の記録が全く残されていない！

※ 事故後：菅直人・枝野幸男・海江田万里を、「ただちに『ペント』を行わせなかった『原子炉等規制法違反』の罪」と、「これによって多数の放射線被害を与えた『業務上過失傷害』の罪」で、告発した市民団体があつて、地検はこれを

受理した。しかし、菅元首相、原発事故で地検聴取応じず、告発を否認。市民団体の、審査会申し立てもむなしく、「不起訴相当」で終わり、そのかわり、東電と監督官庁の責任者にたいする、事前の津波予測対策に責任が転化されて、今もむなしい：訴訟が：審査会で審理されている。

菅が視察に行かなければ少なくとも：爆発だけは免れていた：のではないのか？時の政権が、「法を無視して」強権を発動した：というか：東電も「すじ（法）」を通さなかったのではないのか？班目・まだらめ氏は、その後国会で、「ペントの遅れが爆発につながった」と証言している。

●枝野官房長官「警視庁公安部捜査」に圧力をかけた（週刊文春 2011年2月17日号）

「違法じゃなくても、（国家権力の）濫用なんだ！」

2005年12月16日第2議員会館の第3会議室。民主党の枝野幸男はヒアリングの名のもとに、警察庁の人間に対し、JR総連・JR東労組への捜査手法について、手厳しい批判を加えていた。本誌はこの議事録を独占入手した。そこには、枝野氏ら民主党議員が、警視庁公安部の捜査に圧力をかけたのではないかと疑わざるを得ない文言が並んでいた。

今年(2011年)1月14日の内閣改造で、史上最年少の46歳で官房長官となった枝野氏。だが、JR総連及びJR東労組との「蜜月ぶり」で知られる人物の就任に、公安関係者らは危機感を募らせていたという。

警察担当記者が解説する。

「両団体とも結成当初から革マル派との関係が取り沙汰されています。JR東労組はかつて革マル派幹部だった、故・松崎明氏が事実上のトップに君臨していた組織。選挙、献金の両面で支援を受けている枝野氏が、警察庁から情報を吸い上げられる立場についたことに、頭を悩ます公安関係者は少なくない。」

「捜査の中身をいえないのか」

昨年(2010年)5月、当時の鳩山政権はJR総連・JR東労組と革マル派との関係について、次のような答弁を閣議決定している。

「革マル派は共産主義革命を起すことを究極の目的としている極左暴力集団であり(中略)JR総連及びJR東労組内には、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透していると認識している」

当時、枝野氏は行革担当相の任にあり、閣議決定に署名しているはずだが、今日に至るまで両団体との関係は極めて深い。

「96年にはJR総連旗開きに出

席し、リレートークに参加しています。同年のJR東労組主催『政経フォーラム』でも講演している。2009年には枝野氏の選挙区で開かれた、JR東労組大宮地方本部の結成祝賀会に来賓として招かれています」(JR総連関係者)

さらに今年1月8日には、大宮で開催されたJR東労組大宮支部の新年会に、党務で来られない枝野氏の代理で、わざわざ秘書が駆けつけている。

「その秘書は登壇し、『いつもJR東労組さんには大変なお世話になっております』と、丁寧な挨拶をしていました」(出席者)

冒頭の会合に戻ろう。議事録によれば、会合には民主党議員9人と秘書1人が参加している。呼びかけ人は枝野氏をはじめ、山岡賢次氏、荒井聡氏ら政権交代後、党や政府の要職を務めた人物を含め5名。

「直接、議員同士が誘い合ったのではなく、議員会館の事務所

に案内状が入れられていた。おかしいことに、出欠に関する返事の宛先は、JR総連となっていたのです」(民主党関係者)

つまり、JR総連の意向を受けて、枝野氏らが官僚からヒアリングを行なった可能性が高いわけだ。

一方、呼びつけられた官僚は、警察庁・警備局公安課極左対策室長をはじめ、厚労省大臣官房国際課、法務省国会連絡調整室の担当者など6人だった。

ヒアリングの表向きのテーマは、2004年11月にJR総連の提訴を受けてHIOが出した勧告。

すなわち、2002年に起きた東京駅暴力事件(後に不起訴処分)と浦和退職強要事件における未返却押収品を「出来る限り速やかに返却を要請する」とHIOが勧告したこと。

しかし、同会合で出席議員は当時捜査中だった「業務上横領事件」についての質問を行っていた。

その「業務上横領事件」とは、

故・松崎明氏（JR 東労組元委員長、革マル派の創立時の幹部）が「JR 総連国際交流基金代表・松崎明」名義の口座から約 300 万円を引き出して、ハワイの別荘の購入資金に充てたと見られていることである。

2005 年 12 月 7 日から、警視庁公安部は JR 総連本部、JR 東労組本部など 10 数カ所を一斉に家宅搜索したのだが、その 6 日後に例のヒアリングが行われたのである。

出席議員はこの件の捜査について詳細な説明を求め、「JR 総連の会計から私的に流用したこと。現在捜査中なので、詳細は控える」と警視庁の者が答えても、「捜査の中身をいえないということか」と詰め寄った。

また、別の議員は「今回の事件は身内の中のことじゃないか。それなのに何を目的に捜査をやったのか。会社でもやりくりするのは犯罪でなくてもやること」と、まるで業務上横領に目をつむれと言わんばかりであつた。

た。
枝野氏も JR 総連の肩を持つ発言を繰り返した。

警視庁側が「これまで何度も（JR 総連側から）準抗告が行われたが、いずれも裁判所から適法との判断だった。違法とされたことはない」と主張しても、枝野氏は「違法じゃなくても、（国家権力の）濫用なんだ！」と、権力を濫用しているのはどう見ても枝野の方でしょう。

安倍首相夫人の安倍昭恵さんが経営している居酒屋・郷土料理屋 UZU に行ってきました。
とてもすてきなお店です。単品での注文も可
です。昭恵さんが製造などにかかわっている
おいしいお酒などもあります。神田駅近く。

新日本婦人の会が存続の危機に
配達・集金の乱れが拡大
（日本共産党と関係が深い団体
の中で女性を代表する団体）

新日本婦人の会という団体があります。会の目的に賛同する人で条件を満たせばだれでも入会できると規約では定められています。中央・都道府県・地区のどこのレベルにも、幹部内に日本共産党のグループ（支部）があり、選挙の時にはほとんどすべての班で有志による日本共産党を応援する決議が上がり、首長選挙などでは日本共産党とともに戦い、あるいは、国会議員を含めて日本共産党の議員を多数輩出している組織です。日本共産党と関係が深い団体では、女性を代表する組織です。（注）新日本婦人の会を、日本共産党系と言うと、抗議されたり、最悪の場合訴訟されて敗訴したりします。

その新日本婦人の会で、毎週、発行される新婦人新聞が、地区・

班で配達の体制が取れない組織が出てきて、新日本婦人の会がピンチに陥っています。日本民主青年同盟に続き、新日本婦人の会の大きな衰退が予想されます。新日本婦人の会が、新聞の配達・集金ができなくなるということは、新日本婦人の会の存在意義にもかかわる大問題です。新日本婦人の会の大幅な縮小が近いです。

新日本婦人の会では、新婦人新聞の配達・集金を活動の中心にすえていて、毎週、読者のもとに手渡しや玄関のポストに投函などで新聞を届け、読者と結びつき、読者の心を変えて新日本婦人の会に迎え入れ、女性の中で多数派を占め、多数者を結集して、日本共産党が主張する民主連合政府の実現の一翼を担おうという組織です。新婦人新聞の配達・集金が不可能となれば、日本共産党が主張する民主連合政府の実現のために活動するという目的が達成できなくなります。現実問題として、新婦

人新聞が、毎週、きちんと配達されない、読者が新日本婦人の会を意識しないとか、新日本婦人の会の活動を理解する機会を失うとかで、新日本婦人の会の影響が減退します。配達が乱れ、集金もできないと、読者と接することもできず、署名への協力、集会への参加の誘い、さらには、新日本婦人の会への入会のお誘いもできません。

新婦人新聞の支部から班への梱包おろしを、日本共産党の毎朝の赤旗ルートに依頼することはできません。新日本婦人の会が政治的な中立性を主張できなくなりません。

新婦人新聞は、新婦人の会中央本部が編集・印刷し、新婦人の会都道府県本部、新婦人の会支部へおろします。ここまでは、業者が仕事ですので、乱れることはありません。ところが、東京都例えば、杉並支部、江東支部、大阪府例えば、高槻支部などの区市町村単位などの支部では、班長宅、あるいは、

機関紙部長宅への10部とか地域の読者分の新婦人新聞の梱包は、支部が配達します。ところが、新日本婦人の会員の高齢化や会員数の減少で、支部から班長宅・機関紙部長宅への新婦人新聞の読者分の梱包おろしが不可能になりつつあります。まさに、新婦人の会の大ピンチです。

支部の範囲は広いです。東京都でも杉並区や練馬区など、女性が自転車でまわっても、一日では回り切れません。新日本婦人の会の支部では、常勤者がいるかないか、いても半日勤務員だったりするのが実態です。支部が、きちんとした配達業者を雇う金銭的余裕はありません。新日本婦人の会の財政は、新日本婦人の会の各種財政で明らかのように、会費と新聞の、支部・都道府県本部・中央本部の取り分、そんなに高額ではないカンパ、イベントを企画した時の収入、レイラ化粧品などの販売による収入などによるものであり、事務所維持費もたいへんで、きちんとした配達業者を毎週依頼する金銭的な余裕はありません。

ん。また、支部から班への梱包の配達が遅れると、班が新婦人新聞を読者宅に配布するのが遅れます。多くの班では、土日に配布しているのに、月曜日とかに遅れて配達されても困ります。

日本共産党と関係が深い団体では、手渡しなどによる配達と、訪問による集金が原則です。国民との結びつきを強め、国民の心を変え、民主連合政府を実現するためです。郵送による配達は、簡単にはできません。ちなみに、日本共産党と関係が深い団体では、会費の立て替えは禁止されています。毎月、必ず、手集金が原則です。

支部が新婦人新聞をきちんと配達・集金できなくても、新婦人新聞都道府県本部への機関紙代の上納は、期日通りに厳しく遂行を迫られます。遅くとも月内完納が原則ですが、滞納しても、年内には必ず完納を求められます。班も、まったく配達できずにいても、支部への機関紙代の上納は、容赦なく完納を求められます。新婦人新聞の配達・集

金もめごとの種になって、新日本婦人の会の崩壊が加速します。

確実な情報

○東京のS支部では、新婦人新聞の班への梱包のおろしを、二十年以上も、新日本婦人の会の支部の支部長の夫（昔は支部長より下位の役職）がトラックでやっていたが、高齢か何かの理由で不可能に。一週だけ、郵送した。その後は、新婦人の会の会員の夫が、車で配達することに。無償だし、配達日も固定ではなく、定着するかどうかかわからない。

○雑誌 月刊 女性&運動
2014年12月 25ページ 配達・集金の乱れの記事あり

マルクス・エンゲルスの実像 不倫・大酒飲み・民族差別・ 士官との決闘など

以下の情報は、事実です。マルクス・エンゲルス全集に収録されているマルクスの書簡などから、事実だと確認できるものばかりです。直接の出典は、『エンゲルス マルクスに将軍と呼ばれた男』著者 トリストラム・ハント 2010年より労働党議員訳者 東郷えりか 2016年3月25日 初版第一刷発行 です。

・マルクスの不倫・隠し子

1850年にマルクスの妻が家計の金策のために大陸側に旅行をしたことがあり、その留守中にマルクスが二十八歳の家政婦ニムに手をつけたのだ。1851年6月23日に予定どおり、彼らの子であるフレディ・デムートは歓迎されることなくこの世に生を享けた。エンゲルスが自分の子として非公式に認知し育てた。マルクスが政敵から攻撃を受け

ないという「大きな政治的大義」のためであった。

・マルクス・エンゲルスの差別 的発言、民族差別もあり

エンゲルスは政敵に対して、身体的特徴や民族的なことでも差別発言を繰り返した。民族差別用語である「ニガー」ということをばを繰り返したりした。マルクスは、最後まで、エンゲルスのパートナーの姉妹を対等と認めずに、身分の低い職業の人間として差別的に扱ったりした。

・マルクスの大酒飲み・士官との決闘

マルクスは法学部の講義を抜けだして(トリーア酒場クラブ)の会長になった。クラブでは騒々しい飲み会が開かれ、拘置所で夜を明かすこともあり、プロイセンの士官との決闘事件まで起こしたが、幸い左目の上に切り傷を負っただけで逃れることができた。アーノルド・ルーゲとブルーノ・バウアーとともに、彼はヒツペルのワイン酒場を根城に大酒を飲みながら哲学

講義にふけるドクトルクラブを結成した。

・エンゲルスは軍事評論家

戦争はエンゲルスの「とつておきのテーマ」となり、いつもながら徹底的に指導部の機能や戦略の本質、地形学の役割、科学技術、軍の士気の研究に没頭した。理論上では「偉人」を毛嫌いする割には、エンゲルスは偉大な将軍のこととなると、自分を抑えられなかった。自分の唯物論的ならゆる傾向に反して、エンゲルスはワートルローの戦いの英雄「常識が天才の高みにまで昇ることが不可能でなければ、彼が天才となっただろう」を崇めており、1852年にはイギリスで最も反動的な將軍であった政治家の逝去を公の場で悼んだ。

・マルクスは父親の葬儀に参列せず

マルクスは父親の葬儀に参列しなかった。

日本の進む道研究所

〒110-0005 東京都台東区上野 7-4-9 細田ビル 6階

電話 03-6403-9248 FAX 03-4586-9638

<https://japanfutureresearch.jimdo.com/>

代表 安東 幹 (あんど う かん)

電話 080-9412-2780 kanandoj@yahoo.co.jp

日本の進む道研究所では、会員、賛助会員、会報購読者を募集しています。今、入会・あるいは、購読していただけると、日本共産党に寄付した弁護士などのリストを差し上げます。

郵便振替

00160-6-487455

日本の進む道研究所

年間賛助会費 3000円

年間購読費 2000円